

度との芽生えが自然に養われるよう仕向けねばならぬ。

稻作については、よく見せるだけに止まるが、おもも畠りなどは成るべく幼児にも行わせる工夫が望ましい。幼稚園でさつまじものを栽培したものがあれば最も望ましいが、さもなくときは工夫して幼児においも掘りをさせるがよい。幼児には勿論十分なことは出来ないが、おいも畠りでも落花生でもまた牛蒡や人参、大根、かぶ、菜類などの採集でも、成るべく手傳わせるがよい。出来ないから手傳わせるのである。これ等の作業を手傳うことによつて、幼児は生産喜悦の情を味うことも出来、また生産作業に對する正しい理解と態度との芽生えを養うことができる。

八、秋の野菜

十月から十一月にかけて野菜しらべを中心とした遊びをさせるがよい。さともとじやがしもとさつまじもをくらべて見させる。どれがさともとじやがしもか、またさつまじもかをはつきり見分けができるように見くらべさせて、そのちがつたところを見つけ出せるがよい。

秋の保育計画

東京女高師附屬幼稚園

吉田み子

秋は一年の中で一番季候もよく子供に強いはり切つた健康

をぐんぐんと盛り上らせてくれる時です。夏休みが終つて集

まじもでも、太白や農林一號、護國、沖縄一〇〇號など、品種によつて、じるの形も色も味なども相異するが、どれもさつまじもあることがわかれればよい。またじやがいにも農林一號、紅丸其の他の品種があり、さともにも八ツ頭、唐のじも、赤芽、高砂などの品種があるが、それ等については勿論幼児には區別をさせることは出来ない。しかしじるへあること位は見くらべてそのちがいを見付け出させる遊をさせるがよい。大根、かぶ、にんじん、ごぼう、玉葱、冬葱、小松菜、白菜、體菜、京菜、ほうれん草、キャベツなども、いろいろとくらべさせてそのちがつた點を見つけ出させるがよい。實物を見くらべさせてそのちがつたところができるだけいわせると面白い遊びとなる。

是等の野菜類は單に見くらべさせるだけでなく、たべくらべをさせることが出来ると一層よい。また繪に書いたり粘土で細工したりしたものを使展させて八百屋ごっこを遊ばせることも望ましい。單に野菜物ばかりでなく、果物についても、また種子物などについてもごっこ遊びをさせることがで

まつて来る子供達をみますと、陽に灼けて黒く光つた下から元氣が溢れている子もあり、又中には、體の弱い子供は、暑さに負けてどこか生氣のない顔も見受けられます。これらの

子供も、この秋に、ぐんと健康を取り戻し、又は益々のばしでやり度いものと思ひます。あの秋空の様に高く澄んだ、明るさが、子供の心にも體にも、そつくりそのままうつしてゆけたら……。私達先生も、子供に負けず元氣いつぱいいつも遊び、いつしよに生活し、一日生きた日を送り度いと願わずにいられません。夏休み中の行動のゆるみ、だらしなさを、ひきしめ乍ら、樂しい空氣で、やつてゆき度いと思ひます。そこで大體の秋の計畫を考えてみますと、

○戸外あそび

この心地良い季節を失わず、出来るだけ戸外で遊ばせましょう。倉橋先生の仰言る「日光と空氣の好きな子供」にしてやる事を忘れてはならないと思ひます。幼稚園の庭には砂場が、すべり臺が、お友達が待つてあります。高い空にとゞけてぶらんこもゆれるでしよう。ところが、いつも何となく室の中にはばかりいる子供があります。體が弱いとか、お友達の出来ない孤獨性の子供とか、或は、いたずらをするとか、それには色々のわけがあるでしようけれど、いたずらをしていたにしる叱らず、氣分を、遊びを轉換させる意味からも戸外へ誘い出し度いものと思ひます。それには先生が、本當に面白く、本當に戸外を楽しむのでなくては、子供をひきつける事

は出來ないと思ひます。

○虫の家

折角、捕えた虫を、何かに入れ度い。ガラス鉢に草や土を入れたり空箱を利用したりしても良いけれど、子供と協同して麦わらなりヒゴなりで虫籠を作るのも樂しい事と思ひます。幼稚園の島で出来た麥、それを刈つた後の麥わらを、子供と切つておいて虫籠の材料としたら本當に意味深いものと思ひます。先日街を歩いてふと玩具屋の小さい虫籠の價札をみて驚きました。そうだ！ 子供と作ろう、大きいのを！ こんな小さい高い虫籠を買って入れるなんて、本當につまらない。自分達のつくったものの方が、ずっと面白く、子供の喜びも大きい事だらうとは、この時思つたことでした。どんな變な虫籠でも自分達のつくったものは一番うれしく、それに入れたさに、又、虫を探すに餘念ない事でしょ。夏のはじめ、どうしたはずみか、室の中に這入つて來たカミキリ虫一匹でも、幾日も子供達の話題の中心となり、相談しながら幾軒も積木の家をつくつていたことを思ひ出します。虫を逃す時にも、子供と一緒になつて逃してやり度い。逃してやつた後のあの何とも云えない氣持を、子供に味わせ度いからです。

○お月見を中心にして誘導保育

お月様に供えた柿や栗、ぶどう、枝豆等々から、秋の實り

を知りそこから果物屋なり、八百屋なりの誘導保育へ移つて行く事も出来ます。子供と相談して、これらのお店を造る計畫が立てば、子供は幼稚園の行き帰りにも、いじらしい程、店の物を見て來ます。これも社會生活を理解する機會の一つです。誘導保育は大變ですかねど、それだけに子供も先生も共に楽しい毎日です。又、幼稚園には、小さくとも畠を持てれば、本當に幸です。種子を蒔くところから、小さい双葉、それが成長して立派な大根なり、人參なりになつた時、子供の喜びは、どんなでしよう、幸、こゝでは山の上に廣い畠がありますので、毎日の様に子供達と見に行きます。朝等、お魚の頭を埋めたり、灰をやつたりするのまで一緒にくついて來て喜んでやりたがります。腐つたゴミ土が野菜にとつて良い肥料となる事も、説明をしなくとも自然に體験されてゆきます。今はどこの家でも少し位の畠はある様ですが、子供にとつて、幼稚園の畠は又格別のものゝ様です、先日も、ここで收穫した麥やおいもでおハツをいただいた時の嬉しそうな顔は忘れる事が出來ません。

○小園外保育

春秋によく行われる大きな園外保育は勿論してやり度いのですけれど、それの他に、ちよい／＼出来る園外散歩をしてやり度い。大きい遠足は、幼稚園全體で行くので、そんなにちよい／＼出来ない事情もありますが、小園外散歩は一組で、又は隣の組をさそつて二組位の人數で、しかも近い所を

選びますので、いつでも行う事が出来ます。ここではごく近い本校のグランドへよく連れて行きますが、はち切れる様な一人／＼の元氣さが溢れていますのを見て嬉しくなります。草の上でかけっこ、轉がりっこ、虫とり、花摘み、色々の事がどんなに自由に伸び／＼とされるか、虫取りでも幼稚園の庭でした時とは違うのです。不斷はあまり元氣のない子供も、この時ばかりは喜々としているのを見て、連れて来て良かつたと思う事が、よくあります。子供達が充分に遊べる庭を持たない幼稚園や、樹木の少い街の中の幼稚園には、是非度々この小園外保育が必要と思います。公園でも神社でも良いでしょう。但し、あまり遠い所危險な場所を通る事等は、さけなければなりませんと同時に、子供の疲労をすばやく見ぬく先生でなければならぬと思います。子供はいくら元氣に飛び廻つても、活動と休息の調和は常に私達の忘れてならないところだと思ひます。

○お祭り

處により方法も異り季節も違いますが、東京等、秋が多いので、此處にあげて見ました。あの大人達が我を忘れて、夢中でかつぐ御神輿、そしてきら／＼光つた美しい飾りつけにどんなに驚異の眼をみはる事が知れません、面白さに、つい後に、ついてゆく子供の無い様注意しながら、通りまで見に行き度いと思ひます。あの賑やかな、愉快なお祭の氣分をどうんなにすぐ受入れるかは、幼稚園へ歸つて來るとすぐわかり

ます、大積木を板の上にのせて、ワッショイ～がつぐ。積木が無ければ、二人で手を組んでお友達を乗せる。之を見ていては、先生もじつとしている事は出来なくなります、樽みこしや花傘でも作る事にでもなつたら、子供の興味はどこまでも續いて行きます。空樽が無ければ大積木でも、ミカン箱其他の空箱を利用して何か考えてやり度いと思ひます。自分達で、きれいに飾りつけをしたお神輿を幼稚園中を、かついで歩く楽しさは、今から想像しただけでも微笑ましくなります。お祭はその土地～～によつて郷土色豊かなものがあるでしようから、それ～～計畫すれば、面白いものが出来ると思ひます、たゞこの頃は、子供の心が常に浮々として落つきませんので、せめて歸る時でも、静かな音楽を聞くとか、子守歌を静かに先生が弾いてやるとか、何らかの方法で落ち着いた氣持にして歸してやるのが、私達の責任だと思うのです。

○運動會

高い青空の下に、是非運動會も行いましょう。この頃はよく方々で運動會があり、それを親や兄弟と見に行つたりして、子供達にも相當の活動があります、月曜日よくする日曜日の話会い等にも、よく運動會を見に行つて面白かつた事が語られますので、運動會を知らない子供にも、何となく樂しみつゝ待たれる様になるものです。いつも非活動的な子供や、遊戯の時に、いつも仲間に這入らない子供にも運動會を

機会に自然に入る様になつたりする事がよくありますから、その點も大きな収穫でしよう。大きい組も小さい組も皆一緒に楽しむ出来る様に、遊戯も簡単な可愛らしいものを選び度いと思ひます、競技も、どの子も喜んで出来る様なものを工夫したいと思ひます、一例を挙げれば、お土産競争一向うにお土産の這入つた袋をぶら下げて置いて、駆けて行つて取る、（之は昨年の運動會にしたのですが、大變喜びました。袋の中には鉛と小さいキューピーを入れましたが、その他、何でも喜びそうな物を入れたら良いと思ひます）

運動會までには既に幾度か練習をするので、出入とか集まる事、歩く事、驅ける事等、揃つて行動する事や規則を守る事が自然に訓練されて來ます。しかも運動會と言う興味に於て喜んで行われますので少しも無理なく、出來るのです。

○秋の草花

秋の七草をはじめとして、コスモス、ダリヤ、菊等、美しい秋の花を知らせ度いと思ひます。花壇があれば、春植えたのが美事に咲くのを見る事が出来ますが花壇が無ければ、せめて植木鉢がほしく、水をやつたり陽なたに出したり入れてやつたり世話を子供と一緒にしたいものです。この世話をしてゐる中に優しい心が培れて来る事を信じます。保育室にはいつも美しい季節の花をさし、明るく和やかな雰囲氣にして、その花の持つ美しさ、香り、氣高さを受取らせ度いと思ひます。